

第9回 吉野町子ども・子育て会議

会議要旨

■日時： 平成29年2月9日（木）PM7：00～8：15

■場所： 町中央公民館5階 閲覧室

■出席者：

	氏名	所属・役職名等
1	池田 宗士郎	吉野町連合 PTA 代表
2	戌亥 一男	吉野町民生児童委員協議会代表
3	上田 正行	吉野町区長連合会代表
4	佐々木 淳	わかばこども園保護者代表
5	中東 郁雄	小中学校長代表
6	中前 照美	よしのこども園長
7	中山 智美	わかばこども園長
8	林 豊子	公募委員
9	中井 章太	吉野町議会議員
10	山本 智康	よしのこども園保護者代表
11	和田 公子	奈良佐保短期大学地域こども学科 客員教授

※石田委員欠席

■配付資料

吉野町子ども・子育て会議委員名簿【資料1】

吉野町子ども・子育て会議に係る条例及び要綱・要領【資料2】

吉野町認定こども園の定員と利用状況／子どもの人口推移（予定数）【資料3】

幼児期の学校教育・保育の計画と実績／地域子ども・子育て支援事業の計画と実績【資料4】

平成28年度 吉野町子育て支援・教育施策一覧【資料5】

【出席委員数報告】

本日の出席委員は12名中11名です。会議条例第6条第2号にもとづき定足数に達しておりますことをご報告させていただきます。

また、町議会文教厚生委員長の変更に伴い、本年度より山本議員から中井議員に、委員の変更が生じておりますことも併せてご報告させていただきます。

【会長挨拶】

こんばんは。ご無沙汰しております。2月なのでこんな日もあるかなと思いつつ、今まで何回かおじゃまさせていただいた中で、冬場であっても、こんなにドキドキしながら来たことはありませんでした。今日は、奈良市の私が勤めている奈良公園の近くの大学は本当に真白で、非常に素敵な景色をみせてくれておりました。なんとか無事にたどりつかせていただきました。

吉野町のこども園は、幼稚園・保育所からスムーズに移行して、運営していただいているとお聞きして、うれしく思っております。次に、移行はしたけれどもその中で豊かな子どもたちを育てるために、どうしていけばいいだろうというところを委員の皆さまと一緒に話し合うことができたらうれしいと思っております。

今日は、天候の関係もあり、できるだけスムーズに進行していきたいということですが、そういったご意見をどしどしお出しただいて、ご協力いただければ幸いです。どうか宜しくお願いいたします。

【署名委員】

中前委員、中山委員よろしく申し上げます。

【議事】

それでは議事1「子ども子育て支援事業計画について」、事務局よろしく申し上げます。

(事務局説明)

資料に沿って説明

(会長)

多くの事業をしていただいております。前回の会議で少し数字的なことを明確にというご意見がありましたので、事務局の方でできるだけ数字に反映して資料を提示しております。

す。ただ、私の感想ですけれども、なかなか数字に反映できない中身もたくさんございます。そのあたりも委員の皆さまと一緒に共有できたらと思います。

(事務局)

本日の会議では、忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。次年度、本計画が5ヵ年の中間年となります。他の計画と整合性を図りながら支援事業計画を検証し、数値等、計画と相違のある箇所につきましては、中間年である次年度で計画の見直しをしていきたいと考えています。また、この会議で出されたご意見は、次年度以降の計画や教育委員会の指針に反映していきたいと考えておりますので皆さま宜しく願います。

(会長)

議事2「質疑応答」に移ります。

(委員)

資料5の最後のページに載っている市町村対抗子ども駅伝大会のことです。前回もお願いしたことがあります。今年度も、私はコーチとして一緒に携わっているわけなのですが、正直な話、弱いです。今年もテレビ中継があると思いますが、「吉野町は何をしているんだ」と思われる結果になりそうです。私はこの間、スポーツ少年団のサッカーの大会の前に挨拶をすることになり、行ったところ、吉野町のチームが2つあり、実に優秀な子どもたちがいる。なぜその子どもたちが、この駅伝に参加してくれないのかと、去年もぼやきのようなことをいいましたが、全く何の手立ても無く、そのまま過ぎているような気がします。私自身はあきらめておりますが、なんとかならないものかと思いながら、週2回練習を実施しています。とにかくできることはして、頑張っていきたいと思っておりますので、応援方々よろしく願います。

(会長)

切なる願いという印象です。決して弱いわけではなく、その能力に長けたお子さんが吉野町にいらっしゃるにも関わらず、というご意見だったと思います。それに関してご意見のある方、また他の意見のある方も併せてよろしく願います。

(委員)

今の駅伝のお話に関連して、ちょうど私の息子のときも、吉野町が奈良県で一番になって、その後、県の教育委員会が主導のもと、子ども達の可能性や地域のことも含めて事業を行っています。サッカーや野球のクラブ等、教育的一貫としてクラブ活動を行っている中での優先順位について、クラブ指導員の方にもう少し配慮いただくということも考えてほしいと思っております。行政としてはどう考えているのか教えていただけますか。

(事務局)

昨年もご意見をいただきました。その後、サッカーを担当している方も含めて、個人的に話をしてみました。週決まりの練習のスケジュールの関係等でなかなか協力できないというお返事でした。委員さんからお話があったように、県の教育委員会が後援になっていると思うのですが、その辺も含めてお話もさせていただいたのですが、難しいということでした。どういういきさつで今の現状になったのか、という話もあるのですが、委員さんの中にはコーチをしていただいている方もいらっしゃる、大変ご尽力いただいているなか、心苦しいのですが、引き続きお願いするしかない現状です。ただ本当に大事なのは、子どもたちが本当に出たいのか、出たくないのかというところだと思います。そのあたりのところが上手く調整できていないというところがありますので、引き続きお話をするしかないのかなと思っております。

(会長)

これについては今後の課題ということなのか、吉野町という地域から県で優秀な成績を修められたということは、子どもたちにとって誇りであるし、吉野町が豊かになっていくひとつの事業ではないのかなと思います。なんとかみんなの後押しできれば良いと思います。ありがとうございます。

(委員)

資料5の件です。昨年2月24日に開催された前回の会議のときの資料と照らし合わせているのですが、昨年の資料の中で検討課題が挙がっております。「男性の育児・家事の参加促進」は、平成27年度は未実施であるということで、父親教室等の開催が必要であると課題が挙げられておりました。しかしながら、今回の資料にはその記載が無いのは、わざと抜かれているのか。他にも見当たらない項目がある。その辺はどういう理由で挙がってきていないのかわからないので、教えてください。

(事務局)

前回の会議の資料につきましては、施策の展開というところで項目に応じた内容を挙げておりました。先ほどおっしゃっていただいたところにつきましても、仕事と子育ての両立の支援ということで、母親だけではなく父親への支援が必要ではないかということで、父親へのお父さん教室というものも挙げておりました。他にも人権教育のことであるとか、小児救急体制の整備、遊び場の整備、安全教育等も今後実施していこうということで挙げていました。今回は、実際に子育て支援事業として実施しているものについて実績と状況を報告しており、実績として挙がってきていないものが省かれてしまっています。故意に省いたわけではないのですが、子育て支援事業として実施できていない部分が漏れ落ちてしまっております。それらの未実施のものについては、これから取り組んでいかなければ

ならないものだと思っております。こちらの計画は平成27年度から31年の5カ年の計画となっており、その間には実施できるように頑張っていきたいと考えております。

(会長)

数字に表すことができるものについてはこの資料に挙げているが、まだ数字には挙がらないし、まだ実施の過程にあるものについては、省いている。ただ、そのことについては、省いているけれども無くなったわけではなく、5年計画の中に入れていきたいという回答でした。

(委員)

その上で教えてほしいです。私たち委員も、町内で子育てをしている保護者の方々もそうであると思うが、子ども子育て支援事業について非常に満足もしていて、私たちも積極的に協力をしていかなければならないと思っています。昨年も同じことを申し上げました。検討課題が全く見えない。教育委員会側で実施していることについてはよくわかるのですが、わたしたちが何を課題であると捉えて、何を克服していけばいいのかということが全く見えないので、毎回数字の報告で終わってしまうということが残念だと思います。そのあたりは改善できないのでしょうか。

(事務局)

吉野町では子育て支援ということではいろいろな事業をしております。資料5の事業一覧にある事業については、広く周知を行い、住民の方々に活用していただきたいと考えております。

子ども・子育て支援事業計画は、平成25・26年度の2年間で策定を行い、5カ年計画の目標値を設定したのですが、見直しも必要となっております。来年度が中間年であり、平成30・31年度で、次の計画を立てることとなっております。この会議は、現在の状況を共有いただいて検討する場としたいと考えています。また、子育て支援の情勢も変わってきています。例えば「女性活躍社会」や、「働き方改革」といったことも言われております。現在の状況をもとに、前向きな意見で、こうしてはどうか、といった提案をいただきたいと思っております。

検討課題としては、施策全体について、現状と課題について、様々な忌憚りの無いご意見をいただきたいです。よろしくお願いいたします。

(委員)

意見をさせていただく材料が揃っていない資料になっている。去年の資料では検討課題が記載されていたが、今回の資料にはそれが無いので、どうなっているのかが見えません。また、例えば、こんにちば赤ちゃん訪問をみると、24人から15人に減っている

が、対象者が何人いて、その上で何人実施しているのかが示されていないので、全体の何%訪問できているのかが分からず、意味の無い資料になっていると思います。

(会長)

私たちは何を提案していったらいいのか、という委員さんの意見ですが、事務局だけではなく、私たちも計画に提案を載せていかなければならないだろうと思います。事務局側からの提案だけではなく、委員側から提案をして、これについて深めていきたい、若しくは広げていきたいというようなご意見が、委員の中からも出てきて良いのかなと感じております。

今、ご意見をいただいた、こんにちは赤ちゃん事業ですが、15人いて15人訪問したのか、全員であるのかそうでないのか、というところですが、どうでしょうか。

(委員)

こんにちは赤ちゃん事業については、母子手帳をもらいにいった家庭だけに訪問しているんですよ。

(保健センター)

これは出生になるので、転入してきた方も含めて訪問しています。

(委員)

民生委員も一緒に訪問しているものですよ。

(保健センター)

そうです。生後4ヶ月の赤ちゃんがいらっしゃる方のお家に行っています。

(会長)

対象の全世帯の訪問を実施できているかどうかということは、どうですか。

(保健センター)

生後2・3カ月頃、1カ月健診を終えた後ぐらいに行きます。ほぼ毎回100%です。吉野町に住所登録されているが町外にお住まいの方についても、住まいのある市町村にお願いして、訪問していただいて、様子を聞かせていただいています。対象の全ての世帯にアプローチしています。他の市町村にお住まいの方で日程の都合が悪くお断りされて訪問できなかった世帯も1件程度たまに出てくるが、100%と言っていい。対象世帯に訪問できています。

(会長)

100%に近い、いくらかご都合で行けない方たちの事情の中に、ひょっとしたら支援や手助けが必要な世帯があるかもしれないという、そういう懸念でしょう。行政の方で、そういう懸念は大丈夫です、把握はしています、単にご都合だけの話です、ということであれば、それはそれでそれぞれのケースの事情があるのだと思います。しかし、支援の必要なお家庭ほど、拒否される場合が多いので、その懸念があるのだと思います。

(事務局)

現在こども園を利用している世帯の中には無いということで報告しました。小学校の方では把握しております。

(会長)

そういったことと併せて考えていかなければならないことは、漏れ落ちなく、どの子ども健全に育つよう、行政の手が届いて欲しいという願いだと思いますが、委員さん、そういうことであると捉えてよろしいでしょうか。

(委員)

はい

(会長)

そういうことであるので、事業報告の表し方であると思います。表し方によって見えて来ると、安心できる資料になると思うので、ひと工夫していただければと思います。

他にご意見はいかがでしょうか。

本来であれば、お一人ずつご意見をいただきたいところですが、天候が心配であるということもありますので、本日の議事は終了とさせていただきます。

(委員)

今回の会議の時期が延期されたこともあるので、次回の会議の時期を決めてください。

(事務局)

次回開催は10月頃の開催を考えております。ご意見がございましたら、それを反映させていただいて決めたいと考えております。

(委員)

任期が10月までですが、もういちどこのメンバーで集まるということで間違いないですか。

(事務局)

任期が10月までであるということで、10月までに開催させていただきたいと考えております。春に1度開催しても良いですし、他の時期に開催しても良いと考えております。

(会長)

特にご意見は無いということですので、次回の開催は、10月頃ということでよろしくお願いたします。その頃にはニーズ調査によって新しい数字等がでてくるかもしれません。そのあたり、事務局の方での準備をよろしくお願いたします。

それでは、本日の会議を閉会します。ご協力ありがとうございました。

以上